

シネマ203

上映作品ラインナップ

たまにはちょっと、映画でも

北ぶらくり丁に、日本最小の映画館がオープンしました。

大きなスクリーンと、包み込むような音響で映画に没入できる 15 席の空間で、

小さいけれど本格的な“極小極上”の映画体験をお楽しみください。

ドキドキするような世界の映画を、毎月の土日祝を中心に月替わりで上映します。



📅 見たい映画を見逃さない上映スケジュール

- 毎月の土日祝を中心に、シネマ 203 が上映時間を設定してスケジュールを発表します。
- スケジュールの空き枠には、**日時オーダー**上映を受付中。ご希望の上映時間と上映作品を指定してお申込みください。追加上映します。(HP、Facebook、Instagram で随時更新)
- なお、ご観賞の事前予約を各回 10 名様まで承ります。(電話、メール、SNS メッセージ等で)

📅 入場料金 (当日入口にて現金のみ。全席自由席で、受付順にご入場いただきます)

一般: 1,700 円 / 大專: 1,500 円 / 小中高: 1,000 円 (特集上映など特別料金アリ)

※ 各回開場時 (上映 10 分前) に現金でお支払いください。

※ 2024 年 4 月以降に新しい料金設定を導入予定。3 月の半券は捨てずにお手元に！

📍 アクセス

本町公園より徒歩 1〜2 分

北ぶらくり丁と本町公園を南北に
つながる細い道路に<北ぶらくり丁会館>
の鉄看板アリ

【駅から徒歩】

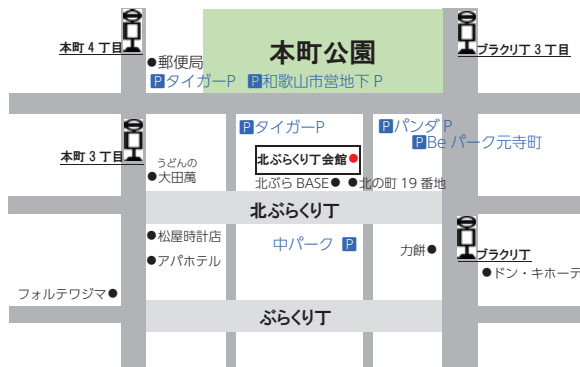
和歌山市駅より徒歩 10 分 (800m)

和歌山駅より徒歩 25 分 (2km)

【駅からバス】各バス停より徒歩 2〜4 分

和歌山市駅より約 1〜2 分

和歌山駅より約 5〜9 分

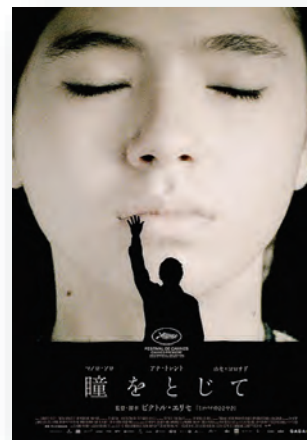


北ぶらくり丁会館 203号室

シネマ203

cinema203

3 月の上映



3/8(金)〜21(木)
ジストシネマ和歌山



シネマ203 3月の上映



和歌山市中ノ店北ノ丁22
北ぶらくり丁会館 203号室
090-8172-7074

cinema203.com/



🎬 瞳をひらいて……少女たちは目をそらさない

スペインに、ビクトル・エリセという監督がいます。1970 年代から 10 年に一度ずつ発表された新作を、世界が待ちわび固唾を飲んで見つめてきた監督です。今回の不在は長かった。『マルメロの陽光』(1992)iraいの長篇新作『瞳をとじて』が、いよいよ今月、3/8(金)よりジストシネマ和歌山にやってきます。31 年ぶりの帰還を祝して、シネマ 203 で特別上映を開催します。1985 年の 2 月と 10 月に、六本木シネ・ヴィヴアンで初めて日本公開された記念碑的 2 作品を、2024 年 3 月の和歌山で、新作とともにご堪能ください。映画ファンをとりこにした天才少女アナ・トレントには、新作『瞳をとじて』でも会えるそうです。

『瞳をとじて』公開記念 ビクトル・エリセ 特別上映	
	『ミツバチのささやき』EL ESPÍRITU DE LA COLMENA 出演：アナ・トレント、イザベル・テリエア ほか (1973 年／スペイン映画／99 分) © 2005 Video Mercury Films S.A.
＜配給：ギャガ、アイ・ヴィー・シー＞	
	『エル・スール』EL SUR 出演：オメロ・アントヌッチ、ソンソレス・アラングーレン ほか (1983 年／スペイン・フランス映画／95 分) © 2005 Video Mercury Films S.A.

🎬 祝・卒業！ [和歌山リレー上映] を串本・田並劇場と

「わたしたち、この世界でちゃんと生きてる？」3 月はもう 1 本、ふたりの少女たちの映画を、和歌山の北と南でリレー上映します。串本の田並劇場は、春休みを利用した宿泊観賞も超オススメ！ この機会にぜひ!! 本作は、昨年発売された『POPEYE』特別編集冊子『YOUTH CINEMA CATALOG』の表紙を飾り、そこには「若いうちにいい映画をたくさん観よう」という文字が躍っていますが、若者はちゃんと見てるんじゃないかな。ということで、この春に和歌山の小中高を卒業する皆さんはお祝いにワンコインでどうぞ！

	『ゴーストワールド』ANNETTE 監督：テリー・ツワイゴフ 原作：ダニエル・クロウズ 出演：ソーラ・バーチ、スカーレット・ヨハンソン、 ステイヴ・ブシェミ、ブラッド・レンフロ ほか 配給・宣伝：サンリスフィルム (2001 年／アメリカ映画／111 分／ビスタ) ©2001 Orion Pictures Distribution Corporation. All Rights Reserved.
---	---

🎬 連続上映 2 ヶ月目は、愛の物語 2 本を

ドライヤー監督特集、早くも次のプログラムに突入です。2 月の 2 本、『奇跡』と『裁かるゝジャンヌ』につづき 3 月は、特集の中で最古、100 年前の『ミカエル』(劇場初公開!)と、1943 年の衝撃作『怒りの日』を上映します。美しき青年ミカエルへの哀しき愛を貫く老画家の孤独と、一人息子のいる牧師の後妻になった若きアンネが巻き込まれる魔女狩りの恐怖… 2 つの愛の物語の美しさと新しさを、今月もどうぞお楽しみください。

カール・テオドア・ドライヤー セレクション vol.2
★『ミカエル』Mikaël (1924 独) 1h35 『あるじ』Du skal ære din hustru (1925 丁) 1h47 『裁かるゝジャンヌ』La Passion de Jeanne d'Arc (1928 仏) 1h37 『吸血鬼』Vampyr (1931 仏独) 1h14 *初のトーキー ★『怒りの日』Vredens dag (1943 丁) 1h27 『奇跡』Ordet (1954 丁) 2h06 『ゲアトルーズ』Gertrud (1965 丁) 1h58
★ 3 月の上映 配給：ザジフィルムズ

🎬 「映画が来たよ！ 映画だよ！」

2 月は、毎日を丁寧に生きる『バターソン』を、じっくりと味わっていただきました。街中を走るバスをつい意識してしまい、ふと気がきました。この街のバスの路線は今も、ぶらくり丁周辺を必ず通って市内を巡回しているんだな……。

文化の中心地ということばを噛み締めるひと月が過ぎ、9 月のプレオープンから半年がたちました。シネマ 203 の皆さま、新しい映画館と一緒に作ってくださって、本当にありがとうございます。

🎬 🎬 🎬

ジストシネマ和歌山の『瞳をとじて』公開を挟んで、80 年代から日本の映画ファンが繰り返し見てきた心の映画『ミツバチのささやき』を、シネマ 203 のスクリーンにお迎えします。映画は、村にやってくる巡回上映のトラックに駆け寄り子供たちの歓声で幕を開けます。「映画が来たよ！」「今日はどんな映画？」「面白い？」「怖い？」かつて、ぶらくり丁で感じた興奮が蘇り、今またこうして同じ思いでここにいる。くすぐったい感傷と深い感謝が胸がいっぱいです。

そして『エル・スール』は本当に久しぶり。父と娘の複雑で強い絆の物語が、年を重ねるごとに深く迫ってくる、重低音の 1 本です。父役のオメロ・アントヌッチは、タヴィアーニ兄弟『父 バードレ・バドロネ』(77)、『カオス・シチリア物語』(84)などで知られる名優。くしくも 2 月 29 日にパオロ・タヴィアーニ監督の訃報が届き、12 月に上映した『遺灰は語る』が遺作になったなとしみじみ。今頃は、兄ヴィットリオ、ピランデッロ、アントヌッチと共に語り合っているのですね。

🎬 🎬 🎬

春が来ます。そろそろ刺激、いいですか!? 4 月は、80 年代に“恐るべき子ども”と呼ばれた時代の寵児、レオス・カラックス監督最新作『アネット』を上映します。『バターソン』のadam・ドライバーが歌って踊るダークな異形ミュージカルは、辛酸をなめた大人向けです。“息すらも止めて ご覧ください”カラックス監督デビューから 40 年で映画はどこまで来たのか、関連作 2 本も上映予定。乞うご期待。(北ぶらの一人官女より)

※ エリセ特集の 2 本、ドライヤー特集の 7 本は、各半券にて特集内リピーター割引をご利用ください

※ 3/10(日) 11~16:00@北ぶら BASE 「シネマ 203 ガレージェール」懐かしいポスター・パンフ等販売